

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか	○				<p>・今年度はコロナ感染拡大防止のため、園内に保護者の方を入れての行事は行えなかったため、理念や基本方針について知っていただく機会が、不十分だったように思います。しかし、保護者アンケート結果からは、理念や方針を大切に保育が行われていると回答された方が多くいたため、園日よりやクラス日より、日々のドキュメンテーション等にて教育保育の意図を理解していただけているのではないかと思います。今後さらに職員間の教育保育の大切にしたい箇所の共通理解を図り、保護者の方には情報発信を行ってまいります。</p>
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			<p>・教育保育課程の中の安全について地域性などを考慮し見直しの機会を持ちました。また指導計画は前月の自己評価を基に日々の子どもの育ちを職員間で確認しながら作成するようにしています。しかし全体的な計画は園の方針3つのゼンを教育保育の基盤と捉えたものを作成してありますが、食育や保健、安全や子育て支援等とも連動し、園生活の全体が見渡せるものが必要だという課題もあり、今後作成に取り組んでいきたいと思っています。</p>
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか	○				
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				<p>・今年度はコロナ禍で食育に関して様々な規制がありましたが、その中でも子どもたちが楽しく食事が行えるよう保育教諭と給食職員が話し合いを重ねてきました。今後楽しい食事を基本とする中で、年齢発達に合ったマナーの部分でも職員間で話し合いを持ち、共通理解を行ってまいります。</p> <p>・子どもが主体的な活動を行うために、職員間で話し合うことを大切にしています。今年度2階廊下に制作コーナーを設置し廃材を利用して様々な制作を楽しむ中で、異年齢で刺激しあう姿が見られました。各クラスのままごとコーナーの素材や数・配置等の見直しも行っていましたがまだ実践できていない部分が多く、課題となっています。</p> <p>・日々の教育保育、子ども理解を行うためには、日誌での振り返りが重要であることを再度職員間で確認しました。</p> <p>・子どもたちが発達に必要な体験を持つためには、異年齢の交流や地域の方、お年寄りとのかわりを持つことが必要ですが、今年はコロナ禍で様々な場所に出かけられず限られた場所でも過ごすことが多かったです。しかし限られた環境の中でも繰り返し活動することで充実した遊びや経験が積みかさねていけるように職員間でのコミュニケーションを図り必要な環境を準備できるよう努めてまいります。</p>
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか	○				
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか	○				
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか	○				
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育んでいけるよう、継続的な信頼関係が築かれているか	○				

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか	○				<p>・特別な配慮が必要な子どもが安心して生活することができるよう写真や絵カードを用いて次の行動がわかるよう個別の対応を行っています。クラスの主担任同士の話し合いの場は設けていますが、個別に対応している職員間（主にパート職員）での意見交換の場がないため必要だと感じています。気軽に話し合える職員の関係性を築いていけるようにすることが課題です。</p>
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			<p>・コロナ感染拡大防止のため今年度は保護者を園内に入れての行事は行われなかったため、保護者アンケートや連絡帳にて、直接運動会や発表会を見たいとご意見がありました。少しでも保護者の方に満足していただけるよう職員間で話し合いを重ね、年長児の保護者の方には園庭で鼓隊やバルーンを見ていただくことができたことは良かったと思っています。また、動画配信「おうちえん」を通して普段の子どもたちの姿をクラス単位で配信できたため、来年度も継続しておうちえんを有効活用していきたい</p>
	(2) 虐待に対応できる園内の体制（医療機関、児童相談所など専門機関との連携）の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか	○				
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか	○				
教育保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<p>・感染防止マニュアルを作成し園内の消毒等を徹底しながら、看護師が中心となり専門性を発揮しコロナ禍の中様々な対応を行っています。また、登園基準をもとに体調不良児には保護者に協力を求め、早めの休息をとっていただいています。</p>
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策が行われているか		○			
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか	○				<p>・毎月の避難訓練には様々な状況を想定しながら計画しています。第二避難場所が適切なか疑問があり、今後消防署や地域の方と相談しながら検討していきます。</p> <p>・事業計画は社会福祉法人小松市大和善隣館ホームページにて掲載されていますが、職員への周知が不十分であるため、知る機会があまり持てませんでした。実際に目に触れることができるよう各クラスで掲示して職員間で確認する機会を持っていきたいと思えます。</p>
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7) 事業計画が職員に周知されているか			○		
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか			○		
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか	○				
	(10) 個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	○				
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14) 個人の評価結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			
施設関係者評価						
<p>・園の保育理念や基本方針が保護者に伝わっているようですが、今後もしっかり伝わるように、発信の工夫が必要だと思います。</p> <p>・避難訓練の避難場所や駐車場、送迎時の安全について、すぐに検討し早い対応につながっていると思います。</p> <p>・保護者アンケートから見えてきた意見や要望に対して、職員間で十分話し合い共通理解をし、園だよりなどで対応を伝えていってほしい。</p>						